

令和5年度 第17回

本多静六賞 募集要項

1 受賞対象者

埼玉県にゆかりがあり、学術研究又は実践活動により緑と共生する社会づくりに貢献した個人又は団体とします。

「埼玉県にゆかりがある」とは、次のいずれかに該当するものです。

- 埼玉県内で活動していること
- 現在又は過去において埼玉県に居住していること
- 学術研究又は実践活動の成果が埼玉県に貢献していること

受賞の対象となる活動は、次のとおりです。

- 自然科学から人文科学まで森林を含む緑に関する学術研究
- 営利、非営利にかかわらず森林を含む緑に関する実践活動
- 学術研究や実践活動に対する寄付等の支援活動
- その他、緑と共生する社会づくりに貢献したと認められる活動

2 応募方法

個人や団体からの推薦（自薦は不可）により、「推薦書」に必要事項を記入の上、3の「応募先」までメールで送付してください。

「推薦書」の様式は、埼玉県のホームページからダウンロードすることができます。

本多静六賞 募集

検索



3 応募先

メールアドレス：a4300-13@pref.saitama.lg.jp

埼玉県 農林部 森づくり課 森林活動支援担当 あて

4 応募締切

令和5年11月9日(木)

5 選考方法

本多静六賞選考委員会の選考を経て、知事が決定します。

6 表彰

表彰は令和6年5月に実施する予定です。

受賞者には、賞状と副賞(賞金、賞状木製レプリカ)を贈呈します。

これまでの受賞者

第1回受賞者

山中 敬久氏 (林業経営者 秩父市)

第2回受賞者

NPO 法人埼玉森林サポータークラブ (森林ボランティア団体)

第3回受賞者

原 邦紘氏 (林業経営者 神川町)

第4回受賞者

斎藤 馨氏 (東京大学教授)

第5回受賞者

県立浦和高等学校同窓会 (浦高百年の森づくり活動)

第6回受賞者

太田 猛彦氏 (東京大学名誉教授)

第7回受賞者

石井 清允氏 (森づくり活動指導者 神川町)

第8回受賞者

岩田 洋氏 (埼玉森林インストラクター会顧問 長瀨町)

第9回受賞者

お菓子な郷推進協議会 (菓子製造業団体 秩父市)

第10回受賞者

坂本 全平氏 (林業経営者 寄居町)

第10回特別受賞者

久喜市立三箇小学校 (久喜市)

第11回受賞者

NPO 法人ときがわ山里文化研究所 (地域振興団体 ときがわ町)

第12回受賞者

蘭田 稔氏 (秩父神社宮司、京都大学名誉教授 秩父市)

第13回受賞者

関口 定男氏 (前ときがわ町長、埼玉県中央部森林組合顧問 ときがわ町)

第14回受賞者

栗原 慶子氏 (東吾野女性林研「ときめ木」会長 飯能市)

第15回受賞者

中島 宏氏 (造園技術者 さいたま市)

第16回受賞者

犬井 正氏 (獨協大学名誉教授 さいたま市)

- 山林と平地林、里山を対象として林野と人間の諸活動に関する研究を行い、専門誌への論説などのほか、多くの学術書を上梓した。これらの身近なみどりの保全や活用の普及・啓もう活動により、平地林や里山の存在意義を一般に広く定着させ、その価値を再発見し高めさせた。
- くぬぎ山地区自然再生協議会会長を務め、くぬぎ山地区の自然再生事業の基礎を築いた。また、埼玉県平地林整備指針検討会の座長を務め、さらに武蔵野の落ち葉堆肥農法の「世界農業遺産」認定申請活動のサポートなど、長年にわたり本県のみどりを守る施策に貢献した。
- 里山の活用に観光的要素を組み込んだ手法の研究を实践し、地域住民の誇りや愛着を育む里山のエコツーリズム活動に取り組んだ。飯能名栗エコツーリズム推進協議会会長を務め、里山の利活用と地域活性化を結び付けた実践活動が全国の先導役となり広がりを見せている。